慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	松本市立中央図書館松原文庫目録
Sub Title	Index of the Matsubara bunko collection in the Matsumoto municipal library
Author	大沼, 晴暉(Onuma, Haruki)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1997
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.32 (1997.) ,p.375- 443
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	資料紹介
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000032-0375

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

松本市立中央図書館 松原文庫目録

大沼晴暉

凡例

一、本書は、長野県松本市立中央図書館松原文庫の蔵書目録である。

一、分類は少部数を除いて既に図書館によって為され、函架番号が附されているのでそれを踏襲し、変更は目録上セットとなるべきもの等ごく一部にとどめた。

一、書名に又とあるのは同版本を示し、誤解を生じる虞のない場合、中段の記載は省略して前と異なる箇所のみを記した。

一、書名は原則として本文巻頭によったが、国書においては序題・目録題が内題に準じる場合がある。また図絵類や明治以後の鉛印本・影印本には内題のないものも多い。それらは所謂タイトル頁や表紙から書名をとったものがある。その書名の記されている部分や何処の書名であるかを（　）内に注記した場合もある。

一、中段には異名　テクスト　巻数　著編者　刊写年　刊写者　注記等を記した。校訂者・検閲者は省略した場合も多い。

一、下段には図書の大きさ　冊数を記した。

一、〔　〕は著録者の補記であることを示す。

一、本書は電算写植による印刷とした。字体は原則として現本通りであるが、製版上の制約から、新旧体の類似字・別体字等現本通りにできなかったものがある。

松本市立中央図書館 松原文庫目録

0217 群書一覧
六巻　尾崎雅嘉
享和二年五月刊（大坂　海部屋勘兵衛）　中　六

0221 乾隆欽定四庫全書總目
〔四巻　清紀昀等〕奉勅編
文化二年刊　同五年七月印（官板〈江戸　慶元堂和泉屋庄治郎・古香堂伏水屋宇兵衛〉）　半　六

0222 欽定四庫全書簡明目録
經部四巻首一巻（以下未刊）　清紀昀等奉勅編　〔鷹見〕爽鳩（子允）・同星皐（允）點
享和二年九月序刊（〔田原藩〕有朋館藏板〈江戸　角丸屋甚助等三都六肆〉）　中　六

0223 彙刻書目
〔一〇巻〕　清顧脩
文政一年刊（官板）　中　一〇

0224 彙刻書目外集
〔六巻〕　松澤老泉
文政四年冬序刊（江戸　松本蔵板）　中　六

022 5	正齋書籍考	經書部二巻首一巻　近藤正齋（守重） 文政六年一月刊（大阪　前川文榮堂河内屋源七郎）	中　三
031 1	合類節用集	（題簽）〔八巻〕　三胤子（遜） 延寶八年八月刊（京　平樂寺村上勘兵衛）	中　一〇
031 17	頭書（かしらかき）増補訓蒙圖彙（そうほきんもうづゐ）	二一巻目錄一巻　〔中村〕暢（ママ）齋原撰 元祿八年一月刊	半　八
032 7	新撰字鏡	釈昌住 写	半　二
032 9	爾雅註疏	一一巻（巻一首欠）　晉郭璞注　宋邢昺疏 〔清〕刊	唐中　四
032 13	五車韻瑞	一六〇巻存一五五巻首一巻洪武正韻一巻　明凌稚隆編　菊池耕齋（東匂）點 明暦三年一二月序刊　覆明萬暦一九年八月序刊本	大　四九
032 21	文藻行潦	七巻（巻一・二欠）　山本〔北山〕（信有） 天明二年二月刊（江戸　西村源六・京　淺井庄右衛門等二都七肆）	小　二

033
1
明要附録
（題簽・見返）（佛語明要附録）村上英俊
明治三年刊（村上氏達理堂藏板）左開
大
一

065
6
饑年要録
福澤憲治
明治七年七月跋刊　信陽福岡福澤氏施本
半
一

065
8
古今秘苑
一五巻古今秘苑續録一三巻　清墨磨主人
写　十二桐樓藏板本ノ写
大
二

065
14
南畝叢書
（題簽）存東海談下編（〔篠崎〕東海）〔大田〕南畝編
寛政一年一二月刊（江戸　小酉堂遠州屋清右衛門）
半
一

115
10
愼終儀
〔増田晩翠（磐）〕
写
大
一

115
10
同
〔同〕
写　振仮名付　訂正本
大
一

115
11
追遠儀
（朱校本）〔同〕
写　著者ハ松本ノ人。上記二書、明治一〇年一二月松原氏等ノ校訂ニヨリ松本ノ慶林堂高美甚左衛門ヨリ合刻サル。ソノ稿本ニシテ貴
大
一

129
30

大方廣圓覺畧疏注經

四巻　唐釈宗密
寛永二一年八月刊（京　村上平樂寺）　覆明刊本

大　二

130
12

天道溯原

三巻　（美）丁韙良
清同治八年刊（上海　美華書館）　鉛印

唐中　一

162
1~4

四書緒言

大學四巻中庸六巻論語二〇巻孟子一四巻　清孫瑯撰　北邨（篤所）（可昌）點
元祿一五年一月刊（京　盧橘堂野田彌兵衛・江戸　同重兵衛）　覆清康熙二五年秋刊本

大　一二

162
22~25

四書蒙引

一五巻　明蔡清撰　敖鯤校
寛永一三年五月印　覆明嘉靖六年八月序刊本

大　二〇

162
22~25

又

（題簽）大學章句大全三巻大學或問一巻中庸章句大全三巻中庸或問一巻論語集註大全二〇巻孟子集註大全一四巻首一巻　明胡廣等奉勅編　清汪份編　馮暠等校　吉村秋陽（晉）點
嘉永七年八月刊（江戸　千鍾房須原屋茂兵衛・大阪　宋榮堂秋田屋太右衛門）　覆清康熙四一年五月序刊本

大　一七

162
26~32

汪份増訂四書大全

大　四八

162
37～39

經筵進講原本四書

（二段本）大學中庸上論下論上孟下孟各一卷　明張居正撰　清鄭重・朱鳳台校
清康熙一一年夏序刊（退思堂藏板）

唐大　一〇

162
40～42

新刻辯真内府原板張閣老四書直解

（二段本）二七卷附辯眞刪補鄒魯指南主意　明張居正撰　焦竑編　湯賓尹校
明崇禎四年一〇月序刊（九刻　長庚館）

唐大　一〇

162
43～46

四書疏註撮言大全

大學一卷中庸二卷論語二〇卷孟子一四卷　宋朱熹章句集注　紀曉風（或作嵐）鑒定　呉冠山校
〔清〕刊

唐大　一八

162
50・51

四書釋地

四書釋地續四書釋地又續四書釋地又續三續附孟子生卒年月考　清閻若璩撰　閻詠等校
清刊（重刊　東浯　王氏）

唐半　二

162
55

〔四書〕松陽講義

一二卷　清陸隴其撰　侯銓等編校　筱﨑〔小竹〕（弼）點
文政一一年一一月刊（江戸　須原屋茂兵衛・大阪・加賀屋善藏等二都七肆）

半　五

162
64～67

四書朱子本義匯參

大學章句本義匯參三卷中庸章句本義匯參六卷論語集註本義匯參二〇卷孟子集註本義匯參一四卷首一卷　清王步青撰　王士鼇編
清刊（經綸堂）　覆清乾隆一〇年七月序刊本

唐大　二三

162
68～71

鰲頭四書大全

（金閶五雲居刊本）大學章句大全大學或問中庸章句大全中庸或問各一卷論語集註大全二〇卷孟子集註大全一四卷　明胡廣等奉勅編　徐九一校　熊谷荔齋（立閑）點注
元祿四年九月刊（京　洛陽書肆トノミ）　書入本　角筆挿込マル

大　二三

162
72～75

四書考

（四書備考）存卷二（大學下卷）―卷二四（上孟滕文公下）卷二七・二八（告子・盡心）〔明陳仁錫〕
〔明末〕刊

唐大　一二

162
96

四書纂要

大學二卷附先儒小傳　金子〔霜山〕（濟民）
安政五年刊（芳洲軒藏版〈江戸　内野屋彌平治〉）　書入本

大　二

162
97

大學摘疏

三卷　櫻田〔虎門〕（質）
文政二年刊〔修〕（仙臺　櫻田氏敷學書院藏版〈仙臺　裳華房伊勢屋半右衛門他四都八肆〉）

半　三

162 98 大學略記 安積〔艮齋〕（信） 写 大 一

162 107 中庸欄外書 三帙〔佐藤〕一齋 写 半 一

162 109 中庸〔章句〕 宋朱熹 刊 九行一四字 大 一

162 110 中庸〔章句〕 宋朱熹撰 題〔林〕道春點 刊 八行一五字 新刻／校正 大 一

162 112 中庸〔章句〕 宋朱熹撰 題〔林〕道春點 寛政刊 九―一一行二一字 寛政／校正 大 一

162 113・114 大學章句纂釋 并大學諸説辨誤 古賀精里（ママ）（樸） 文化九年三月刊 同一一年冬修 〔後印〕（江戸 青藜閣須原屋伊三郎・千鍾房須原屋茂兵衛） 大 二

162 116 大學一家私言 佐藤一齋（坦） 写 末ニ「文政丙戌晩夏 嵒井俊識」語アリ 半（仮綴） 一

162 117 大學摘説　并中庸欄外書三帙　佐藤一齋（坦）　写　半 一

162 119 大學衍義　（翁少麓刊本）四三巻首一巻　宋眞德秀撰　明陳仁錫評　刊（〔篠山藩〕）〔天明七年一一月〕修〔後印〕（大阪　河内屋太助）　覆明刊本　大 二〇

162 127 論語欄外書　二帙〔佐藤〕一齋　写　半 二

162 133 孟子欄外書　二帙〔佐藤〕一齋　写　半 二

162 135 孟子集註鈔説　四巻存巻二上・巻三・四〔中村惕齋〕　寶永五年閏一月刊（大坂　浪華書林トノミ）　大 三

162 152 中庸〔章句〕　宋朱熹　刊　九行一五字　文久三癸亥年／初秋吉日／壽麻呂／求之　大 一

162 176 易經蒙引　（重刊易經蒙引）一二巻（有欠）　明蔡清撰　敖鯤校　〔明末〕刊〔修〕刻工名アリ　補写アリ　唐大 二〇

162
203

周易經傳

（周易傳義）二四巻（巻四―七欠）　宋程〔頤〕傳　朱〔熹〕本義　大　六

如竹點

慶安二年刊（重刊〔京〕　道伴）　覆寛永四年一一月跋刊本

162
204

周易本義辯證

五巻　清惠棟撰　蔣光弼校　大　三

享和二年刊（官板）　覆清蔣光弼校刊本

162
205

周易本義通釋

上下經二巻又一〇巻附輯録雲峰文集易義　元胡炳文撰　清〔納蘭〕成德校　（附）胡珙編　大　七

享和二年刊（官板）覆清通志堂經解本　書入本

162
206

周易本義附録纂註

（題簽）上下經二巻又一三巻（版心作一五巻）　元胡一桂撰　清納蘭成德校　大　四

文化一一年刊（官板）〔後印〕（江戸　出雲寺萬次郎）　覆清康熙一六年一〇月序通志堂經解本

162
210

周易相錯紀

八巻附周易相錯紀圖說・周易相錯紀筮儀・經濟五義五常倫篇　聚墨慧鎧　大　五

安永九年九月刊（京　菱屋治兵衛等三都四肆）

162
211

周易國字辯

八巻〔 〕邉二水（棣）　半　八

寛政一二年九月序刊〔後印〕（大阪　享文堂鹽屋井狩佐吉・星文堂藤屋淺野彌兵衛）

162
213

周易〔本義〕

四巻附圖說・周易本義卦歌・筮儀　宋朱熹　唐大　二

清康熙二四年刊（金陵）覆清康熙一一年一一月刊本

162
216

易學啓蒙通釋

二巻附易學啓蒙通釋附圖　宋胡方平撰　清納蘭成德校　杉原〔心齋〕（直養）重校　大　二

享和二年刊　弘化三年修（官板）嘉永五年春印（江戸　出雲寺萬次郎）覆清康熙一六年通志堂經解本　書入本

162
218

書經〔集傳〕

六巻（有欠）宋蔡沈　唐大　四

清康熙二四年刊（金陵）

162
219・226

尚書通考

（書經蔡傳通考）一〇巻書蔡氏傳旁通（尚書旁通・元至正五年四月余氏勤有堂刊本）六巻（版心作一〇巻）元黄鎮成　（旁）陳師凱撰　朱萬初校　大　七

寛文五年一月印（京　上村次郎右衛門）覆明刊本

162
223

古文尚書

（尚書正文）四巻
刊（〔松本〕 崇教館藏板） 木活

半 二

162
223

又

半 二

162
223

又

三本共下冊四八ウ後二行「義」ノ我ヲネバシ訂正　四六ウ後一行「天」ヲネバシ訂正（他天）

半 二

162
227

〔尚書〕砭蔡編

明袁仁撰　袁黄校
享和二年三月跋刊（武藏　石塚氏亘不至齋藏板〈江戸　遠州屋清右衛門〉） 木活

大 一

162
228

西河合集

存古文尚書寃詞八巻　清毛奇齡
写

半 三

162
229

尚書古今文管窺

二巻附今文傳授之圖・古文傳授之圖・朝川同齋（麞）
嘉永一年五月序刊（朝川氏眠雲山房） 木活　圖整版

大 二

162
230

書經插解

八巻　河田屏淑（興）
弘化三年三月刊（河田氏成章館藏版〈江戸　須原屋伊八〉）

大 八

162 231 新鍥書經講義會編 一二卷 明申時行撰 李鴻編 申用懋・同用嘉校 大 八
延寶二年一〇月跋刊 覆明萬曆二六年七月序徐銓校刊本

162 232・233 書〔集傳〕 (明正統刊本) 六卷首一卷書集傳音釋六卷 宋蔡沈撰 杉原〔心齋〕 大 七
(直養) 點 (音釋) 元鄒季友
嘉永四年刊 (官版)

162 235 書〔集傳輯録纂註〕 (書傳輯録纂註) 六卷首一卷 宋蔡沈撰 元董鼎輯録纂註 清〔納 大 五
蘭〕成德校
文化一一年刊 (官板) 覆清通志堂經解本

162 237・238 尚書後案 三〇卷并尚書後辨附 清王鳴盛 唐大 一二
清乾隆四五年秋刊 (禮堂藏版)

162 239 東坡書傳 (明淩濛初序刊本) 二〇卷 宋蘇〔軾〕 大 四
享和二年一〇月写 (源信彝)

162 240 古文尚書勤王師 三卷 山本〔北山〕(信有) 撰 山本〔綠陰〕(信謹) 等校 半 三
文政七年五月跋刊 (山本氏奚疑塾藏板)

162241 書集傳音釋

六巻首一巻　元鄒季友撰　昌谷精溪（碩）點
弘化三年一二月序刊（昌谷氏精溪文房藏板）　中　四

162242 尚書

一三巻　舊題漢孔〔安國〕傳　賀島〔　〕（矩直）點
寛延四年三月刊（京　風月莊左衛門等三肆）　大　二

162243 尚書

（清家正本）一三巻　舊題漢孔〔安國〕傳　清原宣條校
〔天明八年一二月〕刊　享和二年一月印（京　風月庄左衛門等三肆）
前者ト覆刻ノ関係　或ハ毛詩ノ奥流用カ　大　二

162246 詩經〔集傳〕

八巻　宋朱熹
清康熙二四年刊（金陵）　唐大　四

162248 詩經古註

（題簽）（毛詩鄭箋）二〇巻詩譜一巻　漢毛〔亨〕傳　鄭〔玄〕注并
詩譜　明金蟠校　井〔上蘭臺〕（通熙）點
延享四年九月刊（再校　江戸　前川六左衛門等四肆）　大　五

162249 毛詩正文

三巻　〔片〕山兼山點　〔小〕田〔穀山〕（弼）・松〔　〕（伸胤）校
天明四年三月序刊（集思堂藏板）　大　三

162 257 毛詩蒙引

二〇巻首一巻　明唐士雅撰　陳子龍編　唐孟康參定　徐百朋校　大　三

寛文一二年二月刊（〔京〕　村上平樂寺）　覆明刊本

162 258 〔詩〕童子問

八巻首末各一巻　宋輔廣　大　五

〔文化一二年〕刊（〔官板〕）　試刷カ　第二冊表紙裏貼「童子問／巻一　四月三日／三十丁／出来／納メ」　巻末六行以下刷ラズ

162 260 詩集傳名物鈔

八巻　元許謙撰　清〔納蘭〕成德校　大（包背装二改）　四

文化一〇年刊（官板）　覆清通志堂經解本

162 262・263 詩〔集傳〕

〔二〇巻〕存巻一―九・一七・一八并詩傳綱領・詩序〔辨說〕　宋朱熹　大　五

刊（官版）

162 264 詩〔集傳通釋〕

二〇巻（首四巻欠）　宋朱熹集傳　元劉瑾通釋　大　六

嘉永三年刊（官版）〔後印〕（江戸　出雲寺萬次郎）　覆文政一三年刊本　末ニ「明治十六年九月念九日讀了　衞記」松原氏朱識アリ

162 266 春秋胡傳

（汲古閣本）三〇巻首一巻附林堯叟音註括例始末　宋胡〔安國〕（附）林堯叟　唐大　六

〔清〕刊（文樞堂）

162
270

春秋讀法

山本中齋（公簡）　半　一

天保二年一月刊（江戸　藥山書屋蔵板〈江戸　田中屋長蔵・和泉屋庄次郎〉）

162
271

春秋釋例

（武英殿本）一五巻首一巻　晉杜預　唐大　八

清嘉慶五年刊（埽葉山房）　末ニ「文政二年己卯春正月翠軒先生贈之　水戸■■（抹消）介」トアリ「立原禺　此君堂藏本」「小宮□氏／藏書之印」アレバ、立原翠軒ヨリ小宮山楓軒ニ贈ラレシモノナラム

162
272

春秋公羊穀梁傳合纂

二巻楊子法言纂・呂覽纂各一巻　明張榜撰　朱士泰校（楊・呂）張榜撰　王與耔校　武光賜釋　呉從先評　唐大　一

〔明末〕刊

162
273・275

公羊傳

并穀梁傳各一二巻　漢何休・晉苑甯注　（穀）明王道焜校　林羅山・點　大　一四

寛文八年八月刊（〔京〕荒川宗長）　覆明刊本

162
277

春秋經文彙纂

六巻　蒔田雁門（貞）　大　一

天保七年冬刊（大坂　岡田群玉堂河内屋茂兵衛）

162278 **春秋左氏傳校本**

三〇巻（巻一・二・九―一四欠）附釈文三〇巻　晉杜〔預〕集解　大　一一
唐陸〔德明〕音　秦滄浪（鼎）校
文化八年夏刊　文政六年一月印（大坂　岡田群玉堂河内屋茂兵衛）
書入本

162287 **春秋左傳**

一二巻（首四巻欠）　中　七
写

162289 **春秋左傳註疏**

（北監本）〔六〇巻〕存首二〇巻　晉杜〔預〕注　唐孔穎達等奉勅疏　大　二〇
陸德明音　明盛訥等奉勅重校
〔江戸前期〕刊　覆明萬暦一九・二〇年刊本

162290 **春秋經傳集解**

（翻刻左繡）三〇巻首一巻附左繡　晉杜預注　宋林堯叟附注　唐陸德　大　一六
明音　清馮李驊訂（左繡）馮李驊・陸浩評　沈乃文等參評　馮張
孫等校　貫名〔海屋〕（禎）校
嘉永七年二月刊〔修〕安政二年九月印　同三年一月序遞修（貫名
氏須靜堂藏板〈大坂　河内屋喜兵衛等三都一三肆〉）覆清康熙五九
年一〇月序刊本

162292 **重訂批點春秋左傳詳節句解**

三五巻　宋朱申撰　明孫鑛批點　顧梧芳校　余元長訂　唐大　五
明崇禎一一年一月序刊（尊古堂）

162293 春秋左氏傳補注

一〇巻　元趙汸撰　清〔納蘭〕成德校　大一

享和一年刊（官板）〔後印〕（江戸　出雲寺萬次郎）　覆清通志堂經解本

162294 左傳附注

五巻左傳附注後録一巻　晉杜〔預〕集解　明陸粲撰　奥村〔茶山〕（脊猷）校點　大一

寛政一一年刊　〔後印〕（江戸　山城屋佐兵衛等三都四肆）

162295 左傳讀本

（春秋左傳旁訓讀本）三巻　清鮑蘅撰　鮑開等校　唐大四

清康熙二〇年刊（金閶　學畊堂）

162296 左氏探賾

〔八巻〕存首四巻（宣公十八年迄）　古賀紫溟（煜）　大四

写

162297 左傳杜解補正

三巻　清顧炎武撰　那波〔網川〕（與）校　大三

明和四年三月刊　〔後印〕（京　文泉堂林權兵衛等三肆〈那波氏藏板〉）

162299 春秋左傳註解辯誤

二巻附古器圖・春秋左傳註解辯誤補遺　明傅遜　大二

延享三年一月刊　〔後印〕（江戸　崇文堂前川六左衛門・京　中江久四郎〈日殖齋藏板〉）　覆明萬曆一二年二月序跋刊本

162300 春秋左傳雕題略（據杜氏集解）

六卷　中井履軒（積德）撰　山田（廓亭）（寛）校　大六

弘化三年一二月刊（唐津　山田氏廓然堂藏版）

162301 春秋左氏捷覽

并春秋左氏捷覽附錄　明龔而安撰　高（安蘆屋）（昶）校　奥田（尚齋）（元繼）點　中一

安永九年三月刊（大坂　田原平兵衛等三肆）

162302 左傳輯釋

二五卷左傳輯釋總論一卷　安井息軒（衡）　大二一

明治四年三月序刊（彦根　彦根藩學校藏板）

162304 訂正禮記

四七篇　明陸問禮　唐大八

清康熙三三年刊（重鐫　瑞芝堂）　覆明崇禎二年序刊本

162315 筆記禮記集說

一五卷　中村惕齋　大一五

安政四年一〇月序刊（小林伯壽）　木活　卷二首丁欠

162318 禮記

四九篇　雲川（春庵）（弘毅）校　題山崎闇齋點　大四

刊（後印）（京　錢屋儀兵衛・同七郎兵衛）　中縫ニ「朱文公元本」

第一冊又五十四終　丁数通丁

162
324

孝經大全

（序目題簽）甲―癸一〇集　明江元祚編
〔江戸前期〕刊　覆明崇禎六年七月序刊本

大　一〇

162
330

孝經大義

宋朱〔熹〕刋誤　元董鼎注　〔杠宗之〕首書
〔明暦〕刊　〔後印〕（京　天王寺屋市郎兵衛）覆〔明暦三年〕一月刊本

大　一

162
336

經傳釋詞

一〇巻　清王引之撰　東條方庵（喆）點
天保一二年刊　同一四年一月印（雙柳舎藏板〈江戸　千鍾房須原屋茂兵衛〉）覆清皇清經解本　袋附

大　五

162
337・378

經典釋文

三〇巻（巻二二欠）經典釋文攷證三〇巻　唐陸德明　（攷）清盧文弨
享和一―文化六年刊（江戸　慶元堂和泉屋庄次郎）覆清乾隆五六年抱經堂重雕本（攷）同常州龍城書院刊本

大　二九

162
338

九經談

〔一〇巻〕存首二巻　太田〔錦城〕（元貞）
〔文化一年〕刊　〔後印〕（四書房）　月謝未納者書付挟込マル

大　一

162
345

小學書欄外書

〔佐藤〕一齋
写

大　一

162
346

小學句讀集疏

一〇卷首一卷　貝原益軒鑒定　竹田春菴（定直）編　竹田〔梧亭〕（定夫）校

天保九年六月刊（福岡　福岡藩修猷館藏板〈京　林芳兵衛・石田忠兵衛二書堂〉）

大　一一

162
348

讀小學記

六卷（卷二之上明倫・三敬身欠）〔蟹養齋〕

写

大　五

162
352

女孝經

附女誡・女範　唐鄭氏（陳邈妻鄭氏）（女誡）漢曹昭（曹世叔妻・班固妹）（女範）□胡氏

〔江戸前期〕刊　覆明刊本

大　一

162
365

易學啓蒙圖說

（叙）四卷并附錄　宋朱〔熹〕撰　馬場信武圖說

元祿一三年一月刊（沼波理元）

大　一

162
370

春秋左傳君大夫姓氏表

附世次圖　明張我城

元文三年冬跋刊〔後印〕（京　大和屋孫兵衛・富士屋弥三右衛門）

小　一

162
371

通志堂経解總目　全七十套七百冊

并皇清経解總目　清納蘭成德（皇清）〔厳杰〕

写

大（包背装）一

162 373 周易傳義大全 二四巻首一巻周易朱子圖說一巻 明胡廣等奉勅編 鵜〔飼〕石菴點 大 一三
慶安五年五月刊（京 村上平樂寺） 覆明刊本

162 377 中庸章句新疏 〔二巻〕存巻下 室英賀（直清）撰 荒井鳴門（公廉）校 大 一
文政七年七月刊 〔後印〕（大阪 前川文榮堂河内屋源七郎）

162 379 春秋 （胡安國傳本） 廣德館校 大 一
刊（〔富山藩〕 廣德館藏版）

162 380 御纂周易述義 一〇巻 清呉鼎等奉勅編 大橋訥菴（順）點 半 八
弘化三年刊（江戸 大橋氏思誠塾藏板〈江戸 須原屋伊八等三都八肆〉） 翻清乾隆二〇年四月序刊本

163 2 許魯齋先生心法 （韓士奇校刊本） 元許（衡） 大 一
〔寛政〕刊 木活 佚存叢書零本 裏表紙見返墨書「咬菜軒」

163 3 弘裕齋撰語 二二巻 松平竹翁 大 五
文政一二年一一月跋刊（松本藩） 木活 序跋整版

163 4 講學筆記 第一―三冊 仲〔村〕惕齋（欽） 大 一
寛保三年閏四月序刊（阿陽 露木高篤藏板）

163 7 **童蒙訓**

（呂氏童蒙訓）三巻　宋呂本中　大一

文化一三年刊（官板）　覆宋紹定二年眉山李壟刊本

163 9 **說苑**

二〇巻　漢劉向撰　明程榮校　大五

〔寛文八年一月〕刊　〔後印〕（江戸　千鍾坊須原屋茂兵衛）　覆明嘉靖二六年八月序刊本　千鍾房須原屋茂兵衛覆刻本アリ

163 12 **劉向說苑纂註**

二〇巻　明程榮校　關〔元洲〕（嘉）纂注　大六

寛政六年三月刊（尾張　關氏興藝館藏板〈名古屋〉片野東四郎）

163 13 **困學紀聞**

二〇巻　宋王應麟撰　清汪垕校　唐大八

〔清〕刊（桐華書塾）

163 14 **校訂困學紀聞集證**

（困學紀聞五箋集證）二〇巻（巻七欠）　宋王應麟撰　清閻〔若璩〕等七士箋　萬希槐集證　居繼序校　唐大一五

清嘉慶二四年春刊（山壽齋胡氏蔵板）　覆清嘉慶一二年秋序刊本

163 17 **孔子家語**

一〇巻　魏王肅注　岡〔田〕龍洲（白駒）補注并點　大五

寛保一年一二月刊（京　風月堂莊左衛門）

163 18 孔子家語

一〇巻并附錄汲古閣板孔子家語跋　魏王肅注　太宰春臺（純）増注　大　五

并音

寛保二年一月刊（江戸　嵩山房須原屋小林新兵衛）

163 20 朱學辨

鎌田柳泓（鵬）　大　一

享和二年一〇月序跋刊（曲肱菴蔵板〈京　群玉堂脇坂仙次郎〉）

163 23 朱子語類

（朱子語類大全）一四〇巻首一巻（巻二一・二二補写・二七―三三・三五・三六・六九―七六・九四・九六―九八欠）　宋朱〔熹〕撰　大　五〇

明朱吾弼重編　鵜飼〔石齋〕（巻九一以下）〔安井〕眞祐點

寛文八年九月跋刊（山形屋）　覆明萬曆三一年一〇月刊本　巻六四

末「弘化三年丙午陽月十日安積信閲過視往／年所見稍覚少有發揮」

巻一一八裏表紙見返「甲辰三月再讀過」「安積氏／圖書印」アリ、

安積艮齋旧蔵書入本

163 22 又

存巻一四・一五大學二巻　大　一

163 24 朱子文語纂編

一四巻　清嚴鴻逵　大　一〇

安政三年一〇月刊（濵松　山縣城主水野氏育英館藏板〈江戸　中屋

徳兵衛等三都四肆〉）覆清刊本

163 25 **朱子社倉法**　宋朱熹撰　山﨑〔闇齋〕（嘉）編并點　大一
〔江戸前期〕刊　文化三年修（京　朝倉儀助・風月庄左衛門）　朱熹像入

163 28 **新語**　（陸賈新語）二巻　漢陸賈撰　明范欽訂　范大沖校　〔井上蘭臺〕點　大一
〔延享五年　月〕刊　〔遞修〕（大坂　積玉圃河内屋喜兵衛）　覆明萬曆一九年夏范大沖校刊本

163 29 **冗緊錄**　宋趙叔向撰　某音注并點　大一
文政一二年刊（官板）

163 32 **詩傳遺說**　六巻　宋朱鑑編　清納蘭成德校　大三
寛政一一年刊（官板）享和一年八月印（江戸　長谷川庄左衛門・須原屋茂兵衛）覆清康熙一六年通志堂經解本

163 36 **水經注箋**　四〇巻（尾欠）　漢桑欽撰　魏酈道元注　明李長庚訂　朱謀㙔箋　唐大一八
孫汝澄・李克家校
明萬曆四三年四月序刊　刻工名アリ

163 37 **東萊博議**

四巻　宋呂祖謙撰　明黄之寀校　伊藤東涯（長胤）點　中　四

寛政一一年一〇月刊（或ハ修カ）〔後印〕（大坂　積玉圃柳原喜兵衛）

見返ニ寛政改鐫

163 38 **太極圖說**

宋〔周敦頤〕・朱熹撰　熊谷了庵（立閑）首書并點　大　一

〔延寶六年三月〕刊　元禄一三年三月印（江戸　須原茂兵衛）

163 42 **重本論**

尾欠　明王仲陽　唐大　一

明萬暦三三年七月序刊

163 43 **國策異同考**

福家大有　大　一

寶暦一四年夏序刊（京　吉田屋新兵衛・吉田四郎右衛門）

163 45 **二火辨妄**

三巻　芳村北山（樵隱）編　芳村〔　〕（玄恂）校　大　三

正德五年七月刊（京　玉枝軒伏見屋植村藤右衛門・大坂　伏見屋藤次郎）

163 48 **標題徐狀元補注蒙求**

（新刻蒙求）三巻　唐李瀚撰　宋徐子光注　服〔部〕南郭（元喬）點　大　三

寛政二年三月刊（再板　江戸　山崎金兵衛・京　玉枝軒植村藤右衛門等二都四肆）　覆元文四年五月序覆明萬暦刊本

163 49 **標題徐狀元補注蒙求**

三巻　唐李瀚撰　宋徐子光注

寛永一二年四月印（〔京〕　中野市右衛門）　覆古活　書入本

大　三

163 53 **集説詮眞**

清黄伯祿編　蔣超凡校

清光緒五年刊　同八年印（上海　慈母堂藏板）

封面ニ「光緒己卯年鐫／光緒壬午年重校」

唐大　二

163 54 **程氏家塾讀書分季日程**

（三魚堂元刊本）三巻首一巻　元程端禮

文化七年刊（官板）　覆清嘉慶二年一〇月刊本

大　二

163 72 **白鹿洞書院揭示**

宋〔朱〕熹

〔江戸末〕刊　壬戌九月望日／約軒衛記／印

大　一

163 73 **白鹿洞書院揭示**（ハクロクトウショヰンカツシ）

山﨑闇齋集注　淺見絅齋講

天明七年一一月刊（大阪　崇高堂河内屋泉本八兵衛）

大　一

165 4 **老子道德眞經**

〔二巻〕存巻一　魏王弼注　唐陸德明音　宇〔佐美灣水〕（惠）校

明和六年一〇月序刊

大　一

165 9 晏子春秋

四巻　舊題齊晏〔嬰〕撰　明黄之寀校
元文一年九月刊（京　玉枝軒植村藤右衛門・江戸并大坂　植村藤三郎）　書入本　末ニ「明和乙酉之冬　校完」　大　二

165 10 莊子南華眞經

三巻
写　中　三

165 11 荀子

三二篇（版心作三巻）　周荀〔況〕
写　中　三

165 13 改正淮南鴻烈解

二一巻　漢高誘注　明茅坤批〔片〕山兼山考　久保筑水（愛）閲
宇〔野〕東山標注并點
寛政一〇年四月刊（京　額田勝兵衛・同正三郎）　大　一〇

165 14・15 管子

二四巻首一巻韓非子二〇巻　（管子）唐房玄齡注
明萬暦一〇年三月刊　合刻管子韓非子序（王世貞）　刻工名アリ　唐大　二〇

165 16 韓非子識誤

三巻存巻上・中　清顧廣圻撰〔片山述堂（格）・朝川同齋（鼐）〕校
〔弘化二年〕刊　覆清嘉慶二一年八月序覆宋乾道本韓非子附刻本　大　一

166
12

護園隨筆

五巻〔荻生〕徂徠（物茂卿）撰　吉〔田狐山〕（有鄰）校
正徳四年一月刊〔後印〕（京　文華軒植村文華堂・澤田麗澤堂）
巻五文戒

大　三

166
13

瑣語

二巻　五井蘭洲（純）
明和四年三月刊（大阪　井上丹六・松村九兵衛）

大　二

166
14

同

二巻（表紙・裏表紙欠）　五井蘭洲（純）
〔天保三年二月〕刊　覆明和四年三月刊本　第二丁オ後一行墨格アリ　中井積善跋ナシ

大　一

168
4

易學要領

土肥鹿鳴（貫雅）撰　土肥實定・櫻田〔虎門〕（質）校
写　文化七年三月序

大　一

182
46

歳時行事

二巻　城井悔庵（壽章）
明治一一年七月刊（東京　城井氏槐陰書屋藏板〈東京　松崎半藏等三肆〉）

中　二

183
16

釋親考

附輩行説　伊藤東涯（長胤）
写

大　一

185
4

五常之辯

小山玄壽
天保一一年三月刊（江戸　長谷川源六正光藏板）
信州築摩（ママ）郡松本住　儒醫玄壽辯解撰之　序末ニ「長谷川氏藏板／（木記）『禁／賣買』／御用所江戸元祖彫刻師小林冬溪」　藏板者銀座二町目

大　一

185
5

五倫辯解

小山玄壽
天保一一年三月刊（〔江戸〕　長谷川源六正光藏板）
信州築摩郡松本住　小山玄壽著　同前跋・刻者

大　一

189
6

百姓分量記

（民家分量記）五巻　常盤貞尚
享保一一年一〇月跋刊（江戸　文刻堂西村源六）

半　五

189
9

幼君輔佐之心得

并一志通惠　稲葉迂齋（正義）（一志）頼春水（彌太郎）
安政二年三月刊（〔安中〕　板倉氏甘雨亭藏板）

半　一

204
4

理事功程

一五巻（巻三・四・六・九欠）　田中不二麿
明治六年一二月―同八年九月刊（文部省〈東京　出雲寺萬次郎等三肆〉）　歐米各國學制概略

半　二

208
10

大小學校建議

加藤榊陰（有隣・熙）
明治二年一〇月刊（城兼文藏板）　木活　中　一

291
2

柳營年中行事

英鶴仙
刊　中　一

302
17

卓氏藻林

八卷　明卓明卿編　王世懋校　三雲〔　〕（義正）點
元祿九年五月刊（京　村上平樂寺）　覆明萬曆九年三月序刊本　大　八

317
25

偶評今體名家文抄補

四卷附今體名家文抄諸氏小傳　土居光華
明治一一年三月刊（甲府・東京・内藤書屋内藤傳右衛門）（附）銅版　半　一

317
94

文章歐冶

元陳繹曾撰　朝鮮尹春年注　伊藤〔東涯〕（長胤）點
元祿一年六月修（京　永原屋孫兵衛・唐本屋又兵衛）　底本東涯藏朝鮮寫本ナリト　半　一

320
10

明月記和歌事類

壷井義知校
写　末ニ「依或人以望以明月本記校合且加脫字且正異字／而卒尓所加点也進見之人猶可改正之壷井義知／請之印」　大　一

320
40

史館茗話

林梅洞（愨）撰　林〔鵞峯〕（恕）補
寛文八年八月刊　〔後印〕（京　林和泉掾）　大谷木醇堂書入本　大　一

321
73

題林愚抄

存巻一二冬　〔山科言緒〕編
〔元祿五年一月〕刊　半　一

324
5

俳諧歳時記

二巻　曲亭馬琴
享和三年三月刊　〔修〕（大坂　河内屋太助等四肆）　上末「富士（ふし）の農男（のうをとこ）」の條修カ　刷付表紙　大二ツ切二

329
7

文明餘響

二巻　三尾樵山（重定）
明治一一年七月〈序〉刊（東京　富田彦次郎）　繪入　半　二

330
4

清異録

二巻　宋陶穀
〔清〕刊（漱六閣）　狩谷棭齋旧蔵　唐大　二

330
5

隷續

二一巻（巻九・一〇原欠）　宋洪适撰　清汪日秀編　森川竹窓（世黄）校　荒井〔鳴門〕（公廉）點
文化一年六月刊　〔後印〕（大坂　河内屋儀助等三都六肆）　覆清乾隆四三年八月跋刊本　有配　大　四

330
8

文筌小言

服〔部〕南郭（元喬）
享保一九年三月刊（京　須原屋平左衛門）

半　一

332
3

新刻文選正文音訓

一二巻　平田誠齋（豊愛）編校并點
嘉永五年三月刊〔後印〕（江戸　和泉屋金右衛門等四都一四肆）

大　一三

332
10

歐陽先生遺粹

（明嘉靖二六年中元巖峻跋刊本）一〇巻　宋歐陽〔脩〕
文政九年一二月写（中村洞齋）

大　二

332
12

唐宋八大家文鈔

（總敘）唐大家韓文公文抄一六巻唐大家柳柳州文抄一二巻宋大家歐陽文忠公文抄三二巻宋大家蘇文忠公文抄二八巻宋大家蘇文定公文抄二〇巻宋大家蘇文公文抄一〇巻宋大家曾文定公文抄一〇巻宋大家王文公文抄一六巻　明茅坤批　茅闇叔等校
明萬暦七年二月序刊〔後印〕

唐大　三二

332
13

唐宋大家全集錄

（總序）昌黎先生全集錄八巻河東先生全集錄六巻習之先生全集錄二巻可之先生全集錄二巻六一居士全集錄五巻六一居士外集錄二巻老泉先生全集錄五巻東坡先生全集錄九巻欒城先生全集錄六巻南豐先生全集錄二巻臨川先生全集錄四巻　清儲欣編　起豹文校
清康熙四四年一月序刊（松鱗堂）有補写

唐大　四〇

332 16 唐宋八家文讀本

三〇巻　清沈德潛
文化一一年刊（學問所蔵板〈〔江戸〕　慶元堂和泉屋荘次郎〉）　覆清
乾隆一五年一一月序刊本　書入本

半　一六

332 18 唐宋八大家文格

五巻　明唐順之撰　川西函洲（潛）編
文久三年一月刊〔後印〕（大坂　伊丹屋善兵衛等三都佐賀一〇肆）
覆天保一〇年六月跋刊本

半　五

332 19 晩邨先生八家古文精選

（目録）（官版八家古文精選）　清呂〔留良〕撰　呂葆中編
安政六年刊（官版）　覆清康熙四三年序呂氏家塾刊本

大　八

332 20 唐宋八家文讀本考異

二巻　野本〔　〕（耕）
天保一二年刊　木活　著者八中津ノ人

半　二

332 24 三魏文鈔

魏伯子文集・魏叔子文集・魏季子文集各一巻　清魏際瑞・魏禧・魏禮
安政三年刊（大阪　河内屋和助）　木活　序整版

大　三

332 25 韓文起

一〇巻　清林雲銘編　神野〔松篁軒〕（世猷）校　秦〔滄浪〕（鼎）
補標
文政六年一月刊〔明治〕印（名古屋　永樂屋東四郎等四都一三肆）

大　一〇

332 26 新刊迂齋先生標註崇古文訣 三五巻 宋〔樓昉〕撰 呉邦楨・呉邦杰校 大 八
文政一―三年刊（學問所蔵版〈江戸 出雲寺金吾〉） 覆宋寶慶三年
序刊本 源信道讀過識語 或八増島澧水カ

332 30 湘管齋寓賞編 〔六巻〕存首五巻 清陳焯編 陳經校 唐中 五
清乾隆四七年一一月序刊 修（呉興 陳氏聽香讀畫樓）

333 5 昭代詩文 第一・二・四―六集 綿引東海（泰）編 中（大和綴） 五
明治二一年一二月―同二二年六月刊（東京 綿引氏昭代詩文社）

333 7 新刻陳眉公攷正國朝七子詩集註解 七巻 明陳繼儒撰 李士安補 宇〔都宮〕遯菴 大 二
（的）點
元禄二年二月跋刊 覆明刊本

333 13 増註唐賢絶句三體詩法 二巻 宋周弼撰 元釈圓至注 斐庾増注 〔林〕羅山點 大 二
享保三年四月刊（京 明誠堂・含英堂） 翻元至大二年九月序刊本

333 14 合刻三家詩話 （題簽・見返）滄浪詩話・談藝錄・秋圃擷餘各一巻 宋嚴羽・明徐 大 一
昌穀・王世懋撰 石川大凡（之清）點
享保一一年五月刊（江戸 嵩山房須原屋新兵衛）

333 15 名公妙選陸放翁詩集

前集一〇巻後集八巻　宋陸游撰　元羅椅編（後）劉辰翁編
承應二年一二月刊（京　田中庄兵衛）　覆明元大德五年立夏序刊本　大　四

333 16 五言絶句百首解

〔荻生〕徂來（ママ）　大　一
写　五七絶句解序アリ

333 20 三體詩講義

存二巻（巻一第六一―巻二第九丁）　石川鴻齋述　松本謙・小澤瑳（大和綴）　中　一
録
明治一六年一月刊（東京　金聲堂深澤良助）

333 22 浙西六家詩鈔

六巻　清呉應和・馬洵編　半　六
嘉永六年刊（大阪　羣玉堂河内屋茂兵衛）　覆清道光七年四月序刊
本

333 23 韓内翰香奩集

（香斂集）三巻　唐韓偓撰　館柳灣（機）・巻菱湖（大任）校　半　一
文化八年刊　〔後印〕（江戸　青雲堂英文藏）

333 25 初學詩法

貝原〔益軒〕（篤信）　大　一
延寶七年一〇月序刊

333
29

増補詩本事

（増續詩本事）并續詩本事　清程羽文編　張潮補　〔山田〕梅東（清敬直）増　（續）〔山田〕梅東（清敬直）
天保一五年廣寒月序刊（〔京〕無用菴蔵板〈京　文曉堂〉）　中　一

333
30

詩藻行潦

〔四巻〕存首三巻　山本北山
天保一〇年一一月序刊（江戸　千鍾房・青黎閣）　中　三

333
34

奚所須窩小稿

（奚所須窩遺稿）奚所須窩續稿共二巻　竹村奚所（蕡）
天保一三年五月序刊　木活　白井／活字／君直トアリ　大　一

333
37

桃花園稿

四巻　鵜〔殿〕本荘（孟一）
天明四年夏刊（稲垣氏朋來舘藏板〈江戸　鴈金屋伊兵衛・船木嘉助〉）　稲垣氏ハ校者　大　三

333
39

鴨東四時雑詞

〔中島棕隠〕（畫餅居士）撰　綾洲山人増注
文政九年二月序刊　〔後印〕（京　積文堂大文字屋與兵衛・大坂　積玉圃河内屋喜兵衛）　半　一

333
40

詠雁字詩十首

（梅東先生鴈字詩）〔山田〕梅東（清敬直）撰　〔菊〕池五山・琴春　半　一
樵・筱〔崎〕小竹批
嘉永二年九月刊（京　無用菴藏板〈京　文曉堂〉）

333 41 叢桂園詩集 （外題）五言絶句・七言絶句 写 半（仮綴）一

333 55・56 唐詩句解 五言律二卷七言律二卷〔入〕江〔南溟〕（忠囿）刊（滄浪居藏板） 大 四

333 57 唐詩解頤 （題簽）七卷補遺一卷存卷一―四・七補遺 釈大典顯常 安永五年三月刊 寛政一二年五月跋修〔明治〕印（大阪 嵩山堂 青木恒三郎） 半 三

333 58 唐詩正聲 〔二二卷〕存卷七―一四 明高棅編 呉中珩校 〔享保一四年一月〕刊 半 一

334 1 蘇長公小品 四卷 明王納諫編評 布川秋崖（通璞）點 弘化三年四月〈跋〉刊（江戸 青雲堂英文蔵） 覆清刊本 半 四

334 2 王遵巖文粹 五卷（卷二欠） 明王〔愼中〕撰 〔村瀬石庵〕（劉誨輔）編 天保一五年一二月刊（田邊新次郎藏版〈大阪 羣玉堂河内屋茂兵衛・江戸 須原屋茂兵衛〉） 半 四

334 3 **國朝古文所見集**

（清名家古文所見集）一三巻　清陳兆麟編　山口〔　〕（瑨）點
天保一五年一月刊（大坂　藤屋善七）　覆清道光二年三月序刊本　半　五

334 8 **續文章軌範評林註釋**

（明治新鐫續文章軌範評林）七巻（巻一・二欠）　明鄒守益編　焦竑評
李廷機注　〔伊〕東藍田（龜年）補　中　二
明治九年五月刊（鹿児島　高橋種香）　下象鼻ニ「鹿兒嶋縣刋行」

334 9 **龍川先生文鈔**

（陳龍川文鈔）四巻　宋陳〔亮〕撰　大橋訥菴（正順）編點　半　四
安政六年一二月刊（江戸　芥隱書屋藏版〈江戸　和泉屋金右衛門〉）

334 10 **翠娛閣評選屠赤水先生小品**

二巻　明屠隆撰　何偉然編　陸雲龍評　半　二
〔江戸後期〕刊（官版）　木活

334 11 **簷曝雜記**

四巻　清趙翼　大　三
文政一二年一月刊（江戸　向榮堂宮屋源七）　覆清刊本

334 12 **桂海虞衡志**

宋范成大撰　窪木〔　〕（俊）點　中　二
文化九年三月跋刊（下総　窪木氏睡儕堂藏版〈江戸　青藜閣須原屋伊八〉）

334 13~15 **精里初集抄**

三巻（巻一欠）精里二集抄二巻存巻一精里三集文稾五巻存巻二・三・五　古賀精里（樸）撰　古賀〔穀堂〕（燾）等編校
（一）文化一四年一〇月序（三）文政二年五月跋刊　大　六

334 16 **自得堂文鈔**

八巻　生野臨犀（克長）撰　桃井松陽（由義）・平林菁莪（有儀）校
明治一二年六月刊（信州生阪　生野氏自得堂・平林氏卧雲樓藏板〈甲府　内藤傳右衛門〉）　半　二

334 17 **綾瀬先生遺文**

二巻　龜田綾瀬撰　龜田〔鶯谷〕（長保）編
嘉永七年九月刊（龜田氏學經堂藏版〈江戸　須原屋佐助・山城屋佐兵衛〉）袋附　大　二

334 18 **随園文鈔**

三巻　清〔袁枚〕撰　田中従吾軒（恭）編
安政五年二月刊（佐倉　田中氏従吾軒藏板〈江戸　山城屋佐兵衛〉）　半　一

334 19 **春水遺稿別録**

〔三巻〕存首二巻　頼春水（惟完）撰　頼〔山陽〕（襄）校
刊　書入本　大　一

334 21 **經史論存**

（日本名家經史論存）一五巻　關〔湘雲〕（義臣）編　清何如璋等評
明治一二年一〇月刊（温故堂藏板〈東京　内藤傳右衛門〉）　半　一五

334 22 古文析義

一四巻　清林雲銘評注
清乾隆三四年刊（寶仁堂）

唐大　八

334 23 古文析義 文章類集

三巻　緒方益井編
明治一〇年一〇月刊（松本　慶林堂高美甚左衛門）

半　三

334 25 苟完小稿

（題簽）（葆真庵文稿）　春田九皐（翯）撰　諸家評
刊

半　一

334 26 栗山堂文集

六巻　柴〔野〕栗山撰　〔古賀侗菴〕（劉煜）編
〔文久二年〕六月写（〔松原氏〕）

大　三

334 28 枕上集

一〇巻存巻五―一〇　柴〔野〕碧海（升）
天保八年刊（九松書屋藏板〈大阪　京屋淺治郎・徳島　天満屋武兵衛他三都三肆〉）　桂（掛）川儒臣／海野豫藏　海野石窻旧蔵本

半　一

334 29 森田先生草稿

（外題）　森田〔節齋〕（益）
写

大（仮綴）一

334 30 文海指針

川田瓮江（剛）評　小藥昌造・日下寛編
明治九年一〇月刊（東京　編者〈東京　和泉屋半兵衛等七肆〉）

半　一

334 32 履軒弊帚

〔中井〕履軒
写　函碕文庫茶刷料紙

334 33 近世名家 小品文鈔

三巻　土屋耐堂（榮）編
明治一〇年九月序刊　同一五年三月修（校訂再版　東京　小林喜右衛門・長野　西澤喜太郎）

半　三

334 34 藏名山房雜著

第一集東旋詩紀・使會津記・禺于日錄・熱海游記各一巻北游詩草二巻涉史偶筆六巻涉史續筆七巻（巻一―三欠）　岡鹿門（千仞）
明治一四年八月・同一五年三月・同一六年四月序刊（草和史亭藏板）
鉛印

中　七

334 36 續文變

釈大典（北禪老衲）
寛政四年四月刊（京　菱屋孫兵衛・田原勘兵衛）

半　一

334 37 艮齋文略

三巻　安積艮齋（信）
天保二年一二月刊（安積氏見山樓藏板〈江戸　芳潤堂須原屋源助〉）

大　三

334 47 遊中禪寺記

附陪安中侯遊補陀落湖記　板倉節山（甘雨亭主人）撰　諸家評
（附）古橋義方
嘉永四年五月刊（安中　甘雨亭藏版）　界線茶二色刷

大　一

334
48
二十七松堂集
一六巻存首六巻　明廖燕撰　山田吸霞（徴）點
文久二年八月刊（山田氏藏板〈江戸〉　柏悅堂〉）　半　四

336
1
櫻精傳奇
二巻　是亦道人
文政一三年一一月刊（群僊堂藏板〈京　吉田屋治兵衛・津　雲出屋伊十郎・廣島　米屋兵助他四都六肆〉）　中　二

336
2
小說粹言
五巻存巻一・三・五〔澤田〕奚疑（重淵）譯
寶暦八年刊（京　風月堂莊左衛門）　半　三

336
3
評論出像水滸傳
（貫華堂第五才子書）二〇巻七〇回　宋施耐菴撰　清〔金喟〕（聖歎）評
清順治一四年冬序刊〔後印〕　唐大　二〇

336
4
李卓吾先生批點忠義水滸傳
一〇回　宋施耐菴撰　元羅貫中補　明李贄評
享保一三年一月刊（京　林九兵衛）覆明刊本　大　五

336
5
新增第五才子書水滸全傳
一〇巻七一―一一五回　宋施耐菴撰　清〔金喟〕（聖歎）評
清乾隆五七年一二月序刊（本衙藏板）　唐小　八

336 6 **第五才子書水滸傳**

七五巻七〇回存巻三七第三二回以下　〔宋施耐菴〕撰　清〔金喟〕（聖歎）評　〔清〕刊（芥子園）　唐小　一二

336 7 **第一奇書**

（板心）存五〇―一〇〇回　〔清〕刊　七九末墨格部ニイタヅラ彫　唐小　一二

336 8 **雲林別墅繪像妥註第六才子書**（繡像妥註六才子書・西廂記）六巻首一巻　明李〔贄〕評　鄒聖脉注　清〔金喟〕（聖歎）評　〔清〕刊（謙益堂）　清康熙八年序　唐中　六

336 11 **今古奇觀**

四〇巻　明〔馮夢龍〕（墨憨齋）編　〔清〕刊（積秀堂）　繪入　唐小　一六

336 12 **海外奇談**

（忠臣庫）一〇回　清鴻濛陳人譯　〔文化一二年五月〕刊　〔文政三年一二月修〕　天保七年五月印（江戸　玉山堂山城屋佐兵衛・山城屋新兵衛）　半　三

336 13 **虞初新志**

二〇巻補遺一巻　清張潮編　荒井鳴門（公廉）點　文政六年八月刊（大阪　岡田儀助等三都七肆）　覆清康熙二二年七月序刊本　繪入　大　一〇

3371 清白士集　二八巻存巻五以下　清梁玉繩　唐大　一二
〔清〕刊　巻一五補遺アリ　清嘉慶一三年二月跋

3372 陔餘叢考　四三巻　清趙翼　唐大　一六
清乾隆五六年四月序刊（湛貽堂）　序ニ補写アリ　因是／道人　葛
西因是旧蔵本ナラム

3377 湘雲瓚語　二巻　祇園（ママ）南海（瑜）撰　祇園（ママ）〔鐵船〕（尚濂）編　中　二
嘉永一年九月刊（安中　造士館藏板〈江戸　角丸屋甚助等三肆〉）
甘雨亭叢書零本

3377 又　存巻上　中　一

3374 容齋隨筆　一六巻存首三巻　宋洪邁　唐大　一
〔清〕刊（洪氏藏板）　覆明崇禎三年三月序刊本　洪容齋五筆之中

3375 西銘參考　淺見綱（ママ）齋（安正）　中　一
〔嘉永〕刊（安中　板倉氏）　甘雨亭叢書第二集之中

337 6 芳洲口授 雨森芳洲（東）述　釈岱琳録 嘉永一年九月刊（安中　造士館藏板〈江戸　角丸屋甚助等三肆〉） 同前 中 一

337 7 得泰舩筆語 二巻　野田笛浦等 〔江戸後期〕刊（紀藩　瓢葉舘藏版）　木活 半 二

337 8 何博士備論 宋何去非 萬延一年刊（官版〈江戸　出雲寺萬次郎〉）　覆清嘉慶一五年八月跋 留香室刊本 大 一

337 9 隔靴論 鹽谷〔宕陰〕（世弘） 安政六年刊（快風堂藏板） 大 一

337 10 夷俗考 （第七丁以下欠）佛國記（第四丁迄欠）　宋方鳳（佛）〔晉釈法顯〕 〔清〕刊 唐半 一

339 2 續習文録讀譜 （習文録二編上）〔皆川淇園〕 刊 半 一

339
4

續虚字解

二巻　皆川淇園
寛政四年九月刊　〔後印〕（有斐齋蔵版〈京　書肆名削去〉）　中　二

339
6

錦字箋

四巻　清黄澐編〔　　〕（王弘）訂　加藤〔香園〕（淵）點
文政一一年刊（廣島　加藤淵〈廣島　奎曄閣世並屋伊兵衛・米屋兵輔他四都五肆〉）覆清康熙二八年一〇月序刊本　中　四

339
7

詩經助字法

二巻　皆川淇園
天明三年四月序刊（京　菱屋孫兵衛）　中　二

339
8

左傳助字法

三巻〔皆川〕淇園
明和六年七月刊〔後印〕（京　書肆名削去）　中　三

339
10・34

太史公助字法

二巻〔皆川〕淇園
寶暦一〇年三月刊（京　河南四良衛門等四肆）　中　二

339
12

東藻會彙纂略

（新廣地名箋）三巻　萩野復堂（珉）撰　萩野鳩谷（信敏）補　武　小　一
〔　　〕（健）編
明和四年春刊　安永八年冬〔修〕（巻下）同冬刊（江戸　申椒堂須原屋市兵衛）

359 126 **通俗忠義水滸傳**

存巻一六第一九丁迄　岡島冠山（璞）編譯　大　一

刊（京　五會軒）

372 1 **韻府一隅**

一六巻存巻九―一六　清顔懋功編　中　二

刊　覆清嘉慶九年四月序刊本

372 6 **合類韻鏡**

湯淺重慶　大　一

〔元禄享保〕刊（〔京〕書肆名削去）

372 10 **新刊校正増補圓機詩韻活法全書**（圓機活法）一四巻新刻重校増補圓機活法詩學全書　半　二三

二四巻首一巻　明王世貞校　菊池耕齋（東匂）點

寛文一三年四月刊（京　八尾甚四郎友春）　覆明暦二年序覆明萬暦

序刊本　首下象鼻白口、別版補配カ

373 4 **漢字三音考**

附音便ノ事　本居宣長　大　一

天明五年二月刊　寛政一一年七月印（松阪　文海堂柏屋兵助・京

華箋堂錢屋利兵衛）

373 13 **實字解**

三巻（巻中欠）實字解二篇三巻　皆川淇園撰　皆川〔篁齋〕（允）　半　五

等校

寛政三年三月序刊（京　菱屋孫兵衛等三都六肆）

382
2
増補古言梯標註
輯取魚彦撰〔村田〕（平）春海・〔清水〕濵臣・山田常典補
弘化四年春刊（江戸　青雲堂英文蔵）　半　一

410
41
國史紀事本末
四〇巻　青山〔佩弦齋〕（延光）
明治九年八月刊（東京　青山勇〈東京　山中市兵衛〉）　半　二〇

412
3
難波戦記大全
三二巻目一巻　釈常山
安永四年五月写（武井棟英）　大　一七

412
7
関原軍記大全
三二巻目一巻　釈常山
安永五年八月写（武井棟英）　大　一七

412
8
天草軍記大全
二一巻　釈常山
安永四年九月写（武井棟英）　大　七

412
10
中古日本治乱記
八五巻目一巻　山中正信
写（寄合書）　大　八六

412
13
日本外史
二二巻存巻一・三―一〇　頼〔山陽〕（襄）
〔江戸後期〕刊（拙修齋）　木活　拙修齋叢書零本　大　九

412
45
見聞軍抄（けんもんぐんしう）
八巻（巻一・二欠）〔三浦浄心〕
寛文七年二月刊（京　書林堂風月）
大　六

413
3
市政日誌
第六號慶應四年六月五日―第一〇號慶應四年六月一三日
慶應四年六月刊（佐久間氏藏版）
中　一

415
4
懲毖錄
四巻　朝鮮柳〔成龍〕
元祿八年芒種序刊〔後印〕（京　出雲寺和泉掾）
大　一

418
6
正名緒言
二巻附録一巻　菱〔川〕秦嶺（賓）
文化六年一二月序刊（菱川氏秦嶺館藏板）
半　二

418
7
裝束拾要抄
〔二巻〕存巻下　三條西〔實隆〕
寛政一〇年三月刊（〈江戸　青藜閣須原屋伊八〉）
大　一

419
10
鳩巣小説
二巻〔室〕鳩巣
写
大　二

419
13
英雄軍談
五巻存巻五〔丹羽〕佚齊（樗山）
享保二〇年一〇月刊（京　西村市郎右衛門・西村源六）
半　一

419 16 **澹泊先生史論**　二巻附録一巻（附欠）　安積澹泊（覺）　中　二

〔嘉永〕刊（安中　板倉氏藏板）　甘雨亭叢書零本

419 17 **稱謂私言**　〔尾藤二洲〕（孝肇）　半　一

写

419 29 **佐世中山東物語**　（佐世の中山東夢物語）　夢野半治一義　大　一

写　著者八京都室町今出川邊之住・七十五歳述之

419 37 **稱呼私辨**　富岡〔鐵齋〕（百錬）　中　一

明治二年立春序刊（京　弘文堂近江屋佐太郎・博文堂田中屋專助）

419 64 **紀事稿**　〔藍〕澤〔北溟〕（仲明）　半　一

写

421 16 **東萊先生音註唐鑑**　二四巻　宋范祖禹撰　呂祖謙注　大　五

嘉永六年刊（官版）　覆天保一〇年刊官版

421 27 **貞觀政要**　一〇巻　唐呉兢編　元戈直集論　山本〔樂所〕（惟孝）校點　大　一〇

文政六年一月刊（南紀　學習館藏版〈若山　阪本屋大二郎等四肆・江戸大阪二肆）

421
37

四大奇書第一種

（三國志）一九卷一二〇回　清〔金喟〕（聖嘆）評
〔清〕刊（三槐堂）　唐大　一九

421
38

國語〔解〕

二一卷（卷一九第五八丁欠カ）附校刊明道本韋氏解國語札記　呉韋昭　（附）清黄丕烈　唐大　二
清嘉慶五年刊（呉門　黄氏讀未見書齋）　覆宋明道二年四月刊本
狩谷棭齋旧蔵

421
40

國語定本

二一卷　呉韋昭注　宋宋庠音　秦滄浪（鼎）校點　大　六
文化七年四月序刊（〔名古屋〕滄浪居藏版）　第一冊末「杪（ママ）秋十日閲完　用韜」　第三冊末「後二月十日看了　檉宇」林檉宇旧蔵本

421
45

劉向新序〔纂註〕

一〇卷附考一卷　武井〔樗齋〕（驥）　大　四
文政五年五月序刊　天保三年八月修（勝野氏藏板〈江戸　須原屋茂兵衛等四肆〉）

421
48

明朝紀事本末

八〇卷　清谷應泰編　安積〔艮齋〕（信）點　大　三〇
天保一四年刊（二本松　敬學館藏版）　覆清順治一五年一二月序刊本

421
49

熙朝新語

一六巻　清余金
清道光四年冬刊（鳴盛堂）　唐半　六

421
62

補修史通點煩

（史通巻十五點煩）并竄正名家叙事　豬飼敬所（彦博）
享和三年四月序刊（京　楠見文助）　半　一

421
66

資治通鑑

二九四巻首一巻存巻一八迄　宋司馬光等奉勅編　元胡三省音注　秋月胤永・箕輪醇校點
明治一四年刊（東京　猶興舘松井方景藏板）　中　一〇

441
9

江戸現在 廣益諸家人名録

（當時現在）廣益諸家人名録）第二編　層山書房編
天保一三年夏刊（江戸　金花堂須原屋佐助）　中　一

442
36

讀史贅議

二巻　齋藤竹堂（馨）
嘉永五年刊（仙臺　齋藤氏古香書屋藏版）　大　二

443
195

藤樹先生年譜

〔寛政一年一二月〕刊　南畝叢書前集之中　半　一

444
2

蒙求詳說

一六巻　宇〔都宮〕遯菴（由的）
天和三年一一月刊　〔後印〕（書肆名削去）　大　五

444 4 **標題徐狀元補注蒙求校本** 三巻存巻上 岡〔田龍洲〕〔白駒〕箋注 佐々木〔向陽〕〔玷〕標疏 大 一
安政五年刊（四刻）〔後印〕 彩色刷地圖入

444 5 **標題徐狀元補注蒙求** 三巻（巻上欠） 岡〔田龍洲〕〔白駒〕箋注 平田〔誠齋〕〔豐愛〕増 大 二
嘉永二年三月刊（江戸 萬屋忠藏）

444 10 **漢土諸家人物誌** （漢土人物誌）三巻（巻上欠） 〔皆川淇園〕 小 一
寛政五年八月刊（大坂 奈良屋長兵衛・柏原屋嘉兵衛）

444 11 **李伯紀忠義編** 七巻 宋李〔綱〕撰 冢田〔大峯〕〔虎〕編點 大 七
文化六年四月序刊（中野氏六橋書屋藏板） 巻一・巻二初丁誤綴

447 5 **近世孝子傳** 并附録 城井悔庵（壽章）編 北爪有卿画 半 一
明治七年一二月刊（東京 槐陰書屋藏版）

447 23 **宋朱晦菴先生名臣言行録** 前集一〇巻（巻一・二欠）後集一四巻附補遺正誤 宋朱熹編 明 大 五
張采評 〔鵜飼稱齋〕點
寛文七年一一月刊 〔修〕〔後印〕（大阪 河内屋喜兵衛） 覆明刊本

447 24 宋八朝名臣言行録前集輯釋　二巻後集輯釋二巻補闕一巻　近藤〔棠軒〕（元隆）　文政二年一一月序刊（京　瑞書堂丁子屋藤吉郎等三肆）　大　四

454 6 遊松島記　〔細井〕平洲（紀德民）撰　諸家評　刊（江戸　大和屋伊兵衛）　大　一

454 7 西上記　中井竹山（善太）撰　細井〔平洲〕（紀世馨）評　嘉永六年刊（江戸　青雲堂英文藏）　中　一

454 8 禺于日録　并熱海游記　岡鹿門（千仞）　明治一四年六月刊（草和史亭藏板）　鉛印　334 34参照　半　一

454 9 東奥記行　〔山口凹庵〕（韓珏）　文化一〇年一月序刊　半　一

454 11 採訪餘録　細川十洲（潤次郎）　明治一七年九月刊（東京　細川氏吾園藏版）　大　二

454 13 漫遊記程　三巻（巻上欠・巻下附録）　中井櫻洲（弘）撰　成島柳北等評　明治一一年二月序跋刊（東京　中井氏）　半　二

454
37
安政洋行日記
（題簽）安政七年一月一八日―九月二八日　佐藤秀長
写　　大　二

456
20
銅刻琉球諸島全圖
（題簽）圖解二巻欠　大槻文彦
二五三三年刊　銅版彩色刷　　一　舗

457
3
江戸繁昌記
初―五篇〔寺門〕静軒　　半　五
天保五―七年刊（克巳（ママ）塾藏板）　恕軒／清玩　信夫恕軒旧蔵本カ
初末「乙亥春三月念九一閲頃従命免職／閉戸繙遺亦将無聊中以遣悶耳」

457
4
大阪繁昌詩
三巻　田中金峰（樂美）　　半　三
刊（紀律堂藏板〈大阪　河内屋茂兵衛〉）

457
6
熱海温泉圖彙（あたみおんせんづゐ）
山東庵京山（百樹）撰　岩瀬京水等画　　半　一
天保三年秋刊（江戸　錦耕堂山口屋藤兵衛）

457
7
伊香保志
〔二巻〕存巻上附伊香保道中記（いかほどうちゆうき）〔大槻文彦〕　　半　一
明治一五年四月刊（天香樓竹中邦香藏板）

457
8
磯部鑛泉繁昌記

初編　山本有所（譽吉）
明治一九年九月刊（群馬原市　山本氏福音堂〈磯部　音屋萩原弌吉〉）石印　磯部鑛泉地細見〔圖〕整版

中　一

505
26
官職通解

附僧官　千葉芸閣（玄之）
安永四年三月跋刊

半　一

506
1
明律國字解

〔一六巻〕（巻一一・一二・一五・一六欠）〔荻生〕徂徠（物茂卿）
〔江戸後期〕刊（四文楼）木活

中　六

506
15
大唐六典

三〇巻　唐元宗撰　李林甫等奉勅注
清嘉慶四年刊（掃葉山房）

唐大　六

618
13
新撰和算大全

磯野響
明治一一年八月刊（松本　慶林堂高美甚左衛門）

中　一

647
1
運氣論新圖

并說　南里
写

大　一

692
6
新編俗解八十一難經圖要

（目録）明熊宗立
〔江戸初〕刊　覆明成化八年一月熊氏中和堂栞本

大　一

696
4
〔処方集〕
写
大二ツ切二

781
2
奥羽海運記
并畿内治河記　新井白石（君美）
〔嘉永〕刊（〔安中　板倉氏〕）　甘雨亭叢書零本
中　一

810
3
農業全書
一一巻（巻一一附録）　宮﨑安貞編　貝原樂軒補（附）貝原樂軒
元祿一〇年七月刊　同一〇月序印（京　柳枝軒茨城多左衛門）　方道ヨリ装潢一部ヲ水戸老公ニ献ジ熟覧セシ旨ノ損軒宛佐々宗淳書簡ヲ序トス　代官所旧蔵本
半　一一

910
1
江邨銷夏録
三巻　清高士奇編　濵〔田〕杏堂點
寛政一二年一一月刊（江戸　須原茂兵衛等四都七肆）覆清康熙三二年六月序刊本
大　六

912
4
敝帚帖
市河米菴（三亥）書
文政二年五月跋刊（江戸　青藜閣須原屋伊八）　套印
大　一

913
1
草露貫珠
二一巻首一巻拾遺一巻　中村立節編　岡谷義端補（拾）岡谷義端
寶永二年八月・享保六年五月序刊（京　柳枝軒）
大　二三

913 3 書法正傳

一〇巻　清馮武
嘉永五年四月刊（江戸　翰香館英大助）　覆清乾隆五〇年五月序刊本　大六

913 4 重刻内閣秘傳字府

（序）
寛文四年三月刊　〔後印〕（書肆名削去）　覆明隆慶二年七月序刊本　大一

913 5 草書韻會

〔五巻〕金張天錫
明洪武二九年刊　〔修〕　或ハ覆明洪武二九年刊本カ　唐大二

926 1 古今鍛冶備考

七巻　山田吉睦
〔明治〕刊（東京　龜峯館藏板）　石印　大二

926 2 新刀辨疑

（慶長以来新刀辨疑）九巻（巻七附録巻八・九寛政増補）鎌田三郎（藤原魚妙）
安永八年九月刊　寛政修（鎌田氏水音舎藏板〈江戸　須原屋茂兵衛等三都五肆〉）　大九

926 3 古刀参考

（古鍛冶參考）存巻下
写　大一

926 4 古刀鑒定書 （題簽） 写 半 二

926 5 刀釗弁疑抜書 （外題）（古今製作刀劍辨疑）尾欠 （原著）水必子正秀述 千本隆欽録 写 半（仮綴）一

926 6 新刀弁惑録抜書 （外題） （原著）荒木一滴齋（甫秀） 写 半（仮綴）一

追加并未整理本

儀禮經傳通解 存巻四・五家禮四内治弟六―六親屬記第八 〔宋朱熹〕 写 唐大 一

第五才子書施耐菴水滸傳 存巻一三第八回―巻一六第一一回 宋施耐菴撰 清〔金喟〕（聖歎）評 〔清〕刊（貫華堂〈版心〉） 唐大 一

○

首楞嚴經講義 一〇巻 原坦山講 侍者録 〔明治〕刊（佛仙社藏版〈東京 擁萬閣山口屋森江佐七〉） 鉛印 半 五

增註佛祖三經指南

（版心）（增冠傍註）四十二章經）存卷上佛說四十二章經　明釈道霈撰　町　大　一

元呑空編注

明治二〇年三月刊（京都　出雲寺文次郎）

增冠傍註 虛堂和尚語錄

一〇巻（巻三・四欠）　宋釈〔智愚〕撰　高木台岳編校　大　四

大正二年一月刊（京都　貝葉書院）　鉛印

槐安國語

七巻　釈〔宗峯妙超〕語　釈白隱解　大　五

明治一八年刊　同二九年二月跋印（本山藏版〈京都　貝葉書院河村泰太郎〉）　覆寛延三年七月跋刊本

蒼龍老師近稿

（飲醍醐）飲醍醐二十首　今北洪川　半　一

大正三年二月刊（鎌倉　圓覺寺專門道場藏版〈東京　江島喜兵衛〉）

影明治一一年一一月跋東京妻木頼矩藏板本

魏武帝註孫子

（平津舘叢書本）三巻　魏武帝　大　一

天保四年刊（官板）〔後印〕（江戸　出雲寺萬次郎）覆清平津舘叢書本　仙臺櫻田士惠所藏、孫子古寫本、与今所傳頗有異同、而文章義理、過今本／者不少、今本即魏武所注者、微有異同耳、至此本、則有大不同者、盖係魏／武注釋以前之書、可謂希世之珍矣、因加校正如左、凡以案字首之者今以／師曰代之／衞／明治二十七年十一月十九日迨／書　松原氏書入本

唐詩譯說

四巻　釈覺瑞
寶暦一〇年九月刊（含華臺藏板〈江戸　小川彦九郎・京　田原勘兵衛〉）　大　四

唐詩兒訓

五絶一巻七言絶句二巻　新井白蛾（祐登）撰　平松白梨（近江）・森白淵（矩近）校
寶暦九年二月序刊（古易館藏板〈大坂　梧桐舘吹田屋多四郎〉）　半　三

唐詩選掌故

七巻附詩人世次爵里　明李攀龍撰　〔千〕葉芸閣（玄之）集注
明和一年一二月跋刊　半　二

唐詩選

（箋註唐詩選）八巻（巻一・三欠）　明李攀龍撰　〔戸〕﨑〔淡園〕（允明）箋注　山本〔北山〕（信友）校
天明四年五月刊（江戸　小林新兵衛）　半　六

虚字詳解

一五巻　皆川〔淇園〕（愿）撰　皆川〔篁齋〕（允）・吉田〔　〕（備）校
刊（平戸　平戸藩樂歳堂藏板）　半　一五

別置本

032
37

爾雅

（影宋鈔繪圖爾雅・爾雅〔音〕圖）晉郭璞注
清嘉慶六年刊（藝學軒藏版）狩谷棭齋旧蔵本　破損

唐特大　三

162
81～84

周會魁校正古本大方四書大全

一八巻存巻二大學或問巻三－九上論學而－陽貨巻一〇・一五孟子梁惠王章句上告子章句上・巻一八中庸或問（有欠・有補写）
明〔胡廣〕等奉勅編　周士顯校
〔明萬曆〕刊　書入本

唐大　一一

162
124

論語中庸禘嘗考

三輪〔執齋〕（希賢）
寛保一年一〇月写（雲川源肥）掃葉山／房藏書　東條琴臺旧蔵本

半　一

162
156～162

七經孟子考文

周易一〇巻尚書二〇巻毛詩二〇巻左傳六〇巻禮記六三巻論語一〇巻古文孝經一巻孟子一四巻　山井〔崑崙〕（鼎）編　〔荻生北溪〕（物觀）補
享保一五年三月序刊（政府〈江戸　松會三四郎等一一肆〉）

大　三二

162
224

尚書註疏

二〇巻　舊題漢孔〔安國〕傳　唐孔穎達等奉勅疏　〔陸德明〕音
〔明〕刊（〔李元陽〕）書入本　天師明經儒　清原／朝房　清家旧蔵本

唐大　八

163
40・41

山海經廣注

一八巻首一巻山海經圖五巻　清呉任臣注
清康熙三五年刊（本衙藏板）　有補写（椒齋ニ似タリ）　狩谷椒齋旧
蔵本　外題椒齋筆

唐半　六

165
12

中説

（文中子中説）一〇巻〔隋王通〕撰　宋阮逸注
明嘉靖一二年八月跋刊（呉郡　顧春）　刻六子書本　狩谷椒齋朱校
藍点本

唐大　二

332
28

晦庵先生朱文公文集

（朱子大全）一〇〇巻續集一一巻別集一〇巻目録二巻　宋朱〔熹〕
明嘉靖一一年九月序刊　刻工名アリ　有欠・有誤綴

唐大　六〇

334
4

西山先生眞文忠公文章正宗

存巻三―二二　宋眞〔德秀〕編
〔明前期〕刊　覆刻　刻工名アリ

唐大　七

336
14

西遊眞詮

（繡像西遊真詮）一〇〇回　清陳士斌撰　金〔喟〕（聖歎）批點
清康熙三五年八月序刊（同心堂）

唐大　二〇

373
1

六書故

三三巻首一巻　元戴侗撰　清李鼎元校
清乾隆四九年刊（京　師竹齋李鼎元蔵板）　狩谷椒齋旧蔵本

唐大　一六

373
12

轉注說

狩谷〔棭齋〕（望之）
嘉永七年一月刊（福山　森立之家塾）　木活　題簽立之筆　大　一

421
6

漢書

一〇〇巻首一巻存巻一・一三―三八・四一―五〇・五三―五七・六一―六八・七一―七五・七七―八四・八七―九九中、巻一八宋明重複・一六・一九―二一下・二七下・二八上補〔明〕刊本　漢班固撰　唐顔師古注　唐大　六〇
宋慶元二年夏序刊（建安　黄善夫家塾之敬室）　成恩寺・狩谷棭齋旧蔵　書入本

421
13

隋書

八五巻首一巻　唐魏徵等奉勅編　岡井〔蘭室〕（馨）等校點　大　二五
天保一四年四月―同一五年四月刊（高松　講道館蔵板）　同年一〇月印（江戸　須原屋茂兵衛等三都四肆）　覆明萬曆二六年楊道寅等奉勅重校北監本

421
26

貞觀政要

一〇巻　唐呉兢編　元戈直集論　清席世臣校　唐大　六
清嘉慶〔三〕年刊（掃葉山房）　狩谷棭齋旧蔵本

421
28

貞觀政要

一〇巻　唐呉兢　大　二
写　上貞觀政要表狩谷棭齋朱校　薄様

421
29

貞觀政要

（明成化一年八月序刊本）一〇巻　唐呉兢編　元戈直集論　大　一〇

元和九年一〇月刊（京　忠田吉兵衛）古活　朱校本　破損

696
3

〔本草序例〕

元和六年一二月刊　版心「序例」　大　一

903
7

欣賞編

（序）甲―癸一〇集　明沈津編　袁叔度校　唐大　八

明萬暦八年八月序刊（南宮里　袁氏書種堂藏版）刻工名アリ

911
3～5

淳化秘閣法帖考正

一〇巻首一巻附二巻淳化閣帖釋文二巻　清王澍　唐大　一六

清乾隆三三年刊（蘭言齋藏板）狩谷棭齋旧蔵本　目録外題棭齋筆

あとがき

松原文庫はいい文庫である。

松本市立中央図書館松原文庫は、松本藩学教授松原葆斎（文政八―明治廿一年、享年七十四）の旧蔵書で、明治卅九年十一月長男栄の寄贈に係る約三五〇部二一四〇冊を云う。その後市内大名町の栄の弟・広の寄贈した若干点が追加された。しかし松原文庫の未整理本中にも栄寄贈の印刷紙が貼られているものがあり、また追加整理分にも約軒衢記の識語ある葆斎書入本や栄寄贈分より若い函架番号を附された書も見えるので、今回の著録に当っては追加整理分一三点も全て函架番号通りの位置に戻して著録した。著録に当っては図書館の分類を生かしセットとなるべき若干点の位置を整えるにとどめた。

旧蔵者松原葆斎は、名を衢、別号約軒、代々の藩医の家に生れ、十七歳で江戸に出、安積艮斎に学ぶが病を得て帰郷、病癒えて再び江戸に出、野田笛浦に師事した。弘化四年に藩主に従って上京、典医岡本甲斐守に学び、嘉永三年には長崎で医術を修めた。帰藩後嘉永六年に儒医として任官、文久二年には医を弟に譲り、江戸の昌平黌に出、儒者として立たんとした。明治三年大学南校の中助教を拝命、十月願に依り免じられ十一月帰郷、松本藩の藩学校教授となった。明治七年には文部省十等出仕、十一年に帰郷して長野県師範学校と中学校の漢文科の助教諭となる一方、家塾を開いて郷土有為の士に漢学教育を施した。廿二年六十四歳を以て職を辞し、家塾で帷を下すも、卅一年七十四歳を以て白玉楼中に帰した。

松原葆斎には多くの著作があったが未刊散佚し、僅かに「松原葆斎先生遺稿」が大正九年松原葆斎先生紀恩会の編集により同会から刊行されるのみである。松本市史や長野県教育史を始めとする教育史関係の書また平成三年刊行の「松原家古文書目録」、それらをまとめられた平成七年嶋崎一郎氏の中央図書館での講演レジメ等に資料が散見するのみで、私としてこれらにつけ加うべき資料の何物も持たない。郷土の方々の今後の葆斎研究と顕彰とを希うのみである。

松本図書館と斯道文庫との関係はかなり古い。昭和五十二年当時宋元版の調査を進めていた阿部隆一氏が、昭和十九年の長澤規矩也氏の調査によって世に出、戦後廿六年二月再訪後執筆された「松本図書館の貴重書解題」（昭和廿六年十月「松本図書館協会会報」創刊号・後「長澤規矩也著作集」第四巻所収）に記載される宋慶元刊「漢書」の調査を行われたからである。これは汲古書院から上杉家蔵の同慶元刊「漢書」が影印され、その刷上った写真版と比較対査するための図書館行であった。この結果は信濃毎日新聞夕刊に昭和五十四年十月廿九日より十一月五日迄四回にわたって掲載され、後「阿部隆一遺稿集」第一巻に収められている。ただこの調査出張は

慶元刊「漢書」の版の同異と上杉家蔵本との印刷の先後を確定することに眼目があり、残餘の時間は長澤氏の選び出された貴重書を見るのみで松本図書館蔵書の全体に及ぶものではなかった。調査には同行しなかったものの、それ以来松原文庫のことは常に頭の一隅にあった。

其後大阪府立岸和田高等学校和漢書目録の協同編纂者岩見輝彦氏から、整理排架は為されているものの休眠状態にあるこの文庫の再整理をしてはどうかというお勧めをうけた。長澤氏の解題に松原文庫には漢書を始め十二点ほどの狩谷棭斎旧蔵書があり、「この外、無印記の棭翁旧儲があるかも知れない」と記されている。斯道文庫には浜野知三郎氏の浜野文庫に狩谷棭斎を始めとする江戸期校勘学者の自筆本・書入本が多く、出張の際常にこうした校勘学者の自筆本・書入本には注意し調査撮影を行ってきた。平成七年度には共同研究として塾の学事振興資金をこれら校勘学者の調査のために得ている。こうした経緯から遅きに失した嫌いはあるものの、八年三月棭斎の書入本や旧蔵書を求めて松本に赴いたのである。

松原文庫は図書館の整理を経、函架番号を附され、長澤氏が既に貴重書解題で記されたものは三階の金庫室に別置され、他は地下一階の書庫に排架されている。その普通書の中から棭斎旧蔵書を見出すとならば全てを縦覧せねばならず、それならいっそ目録をとった方が早い。こうして函架番号順に再整理しながら目録を著録することとした。今回は廿六日から廿九日迄四日間とし、後は上田市立図書館（花月文庫・花春文庫）に廻った。此回でほぼ半数（321 73題林愚抄まで）を著録、次年度は三月十一日から十六日迄六日間で未整理本・追加寄贈分を除き全ての目録著録を終えた。第三回は同年七月一日から六日迄これも六日間、丁度長期研修で斯道文庫に来ている大分県立図書館司書梅田潤子氏に目録と実物の対査を依頼し一応の調査を終えた。第三回の調査では松原文庫の未整理・追加分の著録と確認作業とは一日で終え、あとは柴田文庫（藩学崇教館助教柴田利直蔵書）の目録著録に宛てた。何分短期でのラピッドサーベイであり存欠等に思わぬ見落しや誤りがあるのを虞れる。図書館側で本目録をもとに実査の上、定稿化して頂ければ有難い。

今回棭斎旧蔵書は尚二点を得、他に松原葆斎の師安積艮斎の書入本、昌平黌に関係する林檉宇・大谷木醇堂等の書入本、水戸の立原翠軒より小宮山楓軒に贈られた由緒あるもの、葛西因是や海野石窓・増島澧水・信夫恕軒等名家の書入本・手沢本が存し、押捺された函碕文庫を始めとする旧蔵印を見ているだけでも様々の思いを呼ぶ。

162 258〔詩〕童子問は第二冊の表紙裏貼の反故の記載や巻末の刷様・刷の具合等を見ると試刷ではないかと思われる。自ら関係した昌平黌の官板や師友の著作が多く蒐められている。同じことは又自らの藩である崇教館の藩版や明治になってからではあるが松本の慶林堂高美甚左衛門の刊行書、信濃の著者による地方版・施本等残存数の

少ないものについても云えよう。近世木活の稀覯書、明版のやや稀覯に属するものも多い。

また平成八年十月小林芳規・池田証寿氏等の角筆文献調査により、松原文庫の16268鰲頭四書大全を始めとする廿七点の角筆文献が図書館蔵書から見出された。松原文庫の四書大全には大学或問第二丁表の書脳部に竹のヒゴ状の角筆がそのまま挿挟まれている。こうした角筆は書物に挿込まれた状態でまま見出されるのであるが、図書館や古書肆では角筆と見ずゴミや夾雑物と見、本を痛めるとて屢々にして捨去られてしまう。また自らこぼれ落ちることも多い。角筆文献は松原文庫には一点のみであったが、他に角筆のはさまった音訓五経が見出され、信濃毎日新聞を始め各紙面をにぎわせた。

この機会を捉え、市当局にお願いしたいのは今後の図書館蔵書の保存についてである。図書館には松原文庫以外に藩校崇教館の旧蔵書約一四五五点一二二五〇冊、崇教館助教柴田利直旧蔵書約二七〇点二六三〇冊（平成七年寄贈にして未整理）が保管されている。藩校の旧蔵書を中心としてその教官だった二人の儒者の個人文庫がそれを補佐する。この三文庫は信州松本の近世文化史を形作りそれを語る核となるものだ。しかし現状は残念ながらこれらの宝は必ずしも生きて働いているようには見えない。書架に縦に排架されているが、帙や夾板にはさまれておらず、和本と違って厚い表紙のつかない唐本は腰が折れて曲った状態になってしまっている。最低限タトウにはさむなりして図書を保護する要がある。かなり点数が多いけれど、この書物群の価値に比べれば安いものである。年次予算を講じ、徐々に再整理を行ってゆくべきであろう。その上で崇教館文庫の再度の目録化と柴田文庫の目録著録を考えてほしい。整理され保存の全きを得、目録化されればこれら貴重なる諸文庫の今後は始めて安泰となるであろう。生態系の如く、生きて次の再生産が始まるのである。

図書館の日常業務の傍ら闖入者である私共に種々御高配を頂いた前館長手塚英男・館長丸山友昭両氏を始め図書館の方々にあつく御礼申上げる。

附　記　なお長澤氏の解題に掲載される椹斎旧蔵本・佩文韻篆六巻六冊（03214）は今回見出すことができなかった。